



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

すまい造りメール

第287号 2026年2月号

SINCE 2002.4.1.

発行日令和8年1月20日
 発行元有限会社佐野工務店
 〒237-0068
 横須賀市追浜本町1-25
 TEL 046(865)4010
 FAX 046(865)6139
<http://www.sano-k.net/>
 info@sano-k.net

♪「笑ったり転んだり」

「今年はどんな年に??？」

日本記者クラブでは、新年会の余興として、その年の政治・経済や世界状況、スポーツなどの出来事を予想する「予想アンケート」を実施しています。2026年の問題をご紹介します。



2026年の問題

- ①12月31日現在のわが国の首相は誰か？
- ②衆議院の解散・総選挙が実施されるか？
- ③日経平均株価(終値)が6万円を超えることがあるか？
- ④農林水産省が発表するコメの「スーパーでの販売数量・価格の推移」で、11月最終週の平均販売価格が3,500円/5kgを上回るか？
- ⑤日本の首相と中国の国家主席が正式に会談するか？
- ⑥米中間選挙で、民主党が上下両院、あるいはいずれかで過半数を獲得するか？
- ⑦映画「国宝」が米アカデミー賞を受賞するか？
- ⑧日本人(日本出身者も含む)がノーベル賞を受賞するか？
- ⑨サッカー・ワールドカップ北中米大会で日本がベスト8に進出するか？
- ⑩ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)で日本が連覇を達成するか？

NHK連続テレビ小説「ばけばけ」の主題歌ではないですが、「毎日難儀なことばかり…」 「日に日に世界が悪くなる…」と、世間的にはあまり芳しくありませんが、気持ちを切り替えて、「気のせいか」「今夜も散歩しましょうか」

日本記者クラブのホームページには過去に出題された問題が掲載されています。過去を振り返ってみると、それぞれの時代のビッグニュースや世相が浮かび上がってきます。



鬼が笑うかもしれませんが…。

<https://www.jnpc.or.jp/>



皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます

創業 1960.1.20.

創刊 2002.4.1.

Next100

介護保険制度の住宅改修工事は、住み慣れた住まいを暮らしやすい環境にして自立を目指すことを目的としています。ご利用される方の現在の心身の状況を考慮し、家族全員の意見を聞きながら、地域包括支援センター、病院関係者、ケアマネージャー、理学療法士などと連携してプランを立てることが大切です。

いままで弊社が担当させていただいたお住まいをご紹介します。

「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」



階段は手をスライドさせながら昇り降りができるように連続した手すりが推奨されています



トイレは車イスでもアプローチがしやすくなるようにスライドドアにして段差をなくし自動で点滅する照明が推奨されています

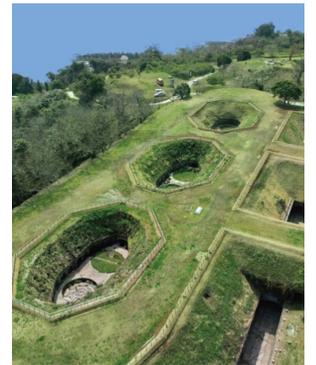


ユニットバスには接着式の手すりもあります

「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ピフォア、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。

ローカルニュース 地域情報

三浦半島周辺で開催されるイベントや地域情報等をご紹介します。



「MEGURU PROJECT」より

◆史跡東京湾要塞跡 千代ヶ崎砲台跡

日本の要塞は明治13年に建設が始まりました。東京湾要塞は日本で最初に建設された要塞で、我が国の近代化初期の建築や土木技術を現在に伝えています。

千代ヶ崎砲台は東京湾要塞を構成した砲台の一つです。江戸時代後期に会津藩により平根山に台場が作られ明治25年から明治28年にかけて陸軍により建設されました。

千代ヶ崎砲台跡
横須賀市西浦賀6-17-1
公開日 土・日・祝日
公開時間 9:30~15:30

戦後は農地や海上自衛隊の施設として使用されましたが、立入禁止の期間があり、比較的当時のままの施設が残り、新たに整備され、一般に公開されています。



「人間万事塞翁が馬」

まちづくりの活動をサポートしている横浜国立大学大学院の大学生・大学院生のレポート第2弾です。

学生が取り組んできた活動を紹介する本シリーズの第2回は、2024年度に参加した社会実験「OPPAMA DECK WEEK」での学生企画「アオゾラ図書館」について紹介します。

「OPPAMA DECK WEEK」は、追浜えき・まち・みちデザインセンターが主催し、「みんなで追浜の駅前空間の将来像を考え、デッキを楽しむ7日間」というコンセプトのもと、追浜駅前ペDESTリアンデッキで開催されました。普段は通行のために使われるデッキを、未来の駅前空間を思い描きながら楽しむ場として活用する試みです。その中で学生が企画した「アオゾラ図書館」は、横須賀市立北図書館の駅前移転を見据え、将来の駅前デッキにおける読書行為の可能性を確かめるために実施しました。



企画では、子どもが楽しめる児童書を中心に並べた「アソビの日」、中高生や大学生が建築やまちづくりに興味を持つきっかけとなる書籍を揃えた「ケンチクの日」、そして横須賀や神奈川といった地元に関心を当てた書籍を紹介する「よこすか・かながわの日」という三つのテーマを設定し、日替わりで展開しました。訪れた人々がそれぞれの関心に合わせて本と出会えるよう工夫しています。

当日に使用した本棚やベンチは、学生がーから設計し制作したもので、現在は追浜えき・まち・みちデザインセンターに設置されています。当日の様子をご覧になりたい方は、「OPPAMA MAGAZINE vol.1」に写真が掲載されていますので、青空の下で本を読むという新しい駅前の風景を、ぜひご覧ください。



(担当・横浜国立大学大学院 田中)



追浜

えき・まち・みちデザインセンター

OPEN 追浜駅周辺では現在、複数の事業が同時に進行しています
サンビーチ追浜4階 月火木金土 30年後の追浜駅周辺の将来像を描いた
10:00~17:00 「追浜えき・まち・みちビジョン」をゲットしよう



よこすか文学館

[122]

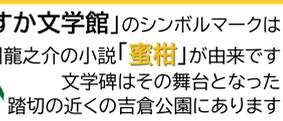
横須賀で生まれ育った俳人進藤一考（しんどう・いっこう、1929-1999）の作品を紹介します。

第1句集『斧のごとく』（1982年）収載。「船櫓（ふなやぐら）」は、本来は、大型の和船（軍船、荷船）の上部に設える櫓のこと。ただし、掲句では、屋形船をイメージしてもよいかもしれません。いずれにせよ、「紅梅」と「船櫓」の取り合わせは意外で、「この句ほど弟子達の間で議論を呼んだものはない」（鳥居おさむ『こころの秀作百選シリーズ② 進藤一考篇』）そうですが、「一考俳句の代表作なるを疑わない」（同前）と高く評価されています。（洗足学園中学高等学校教諭 中島正二）

紅梅に
最も
ちかき
船櫓

進藤一考

「よこすか文学館」のシンボルマークは芥川龍之介の小説「蜜柑」が由来です。文学碑はその舞台となった踏切の近くの吉倉公園にあります



お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap2026」A-9歩ZONE版（永久保存版）を（Blog「Oppamap2026」より）ダウンロードすることができますので、是非ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索